

R5 社会教育主事講習B岩手会場  
社会教育演習「事業計画立案の実際」  
を、ギュッと詰めた

令和6年度  
人・つながり・地域づくり  
関係職員等研修講座  
(久慈会場)

# ～ロジックモデルで見直そう 来年度の事業～

岩手県生涯学習振興協会  
事務局長 佐々木 勉

1

## 概要説明

# ねらい & 学習手順の確認 アイスブレイク

2

## 社会教育事業を見直す視点

- **どうしよう？** から **どうしたい！** へ  
ロジック最終アウトカムの妄想
- **事業** をやれば、こんな**いいことがある**よ  
エビデンス (EBPM) のこじつけ
- **いいこと** を **効果と成果** で見直す  
アウトカム評価とアウトプット評価の整理

3

## 社会教育事業提案に向けた想定場面

モデル自治体の  
予算ヒアリングの  
席で…

今後の社会を展望すると、〇〇教育  
事業をより充実させる必要がある。

ロジックに基づいた、  
新たな事業を提案します



新たな社会教育事業の立案  
自治体 財政担当職員にプレゼンテーション

4

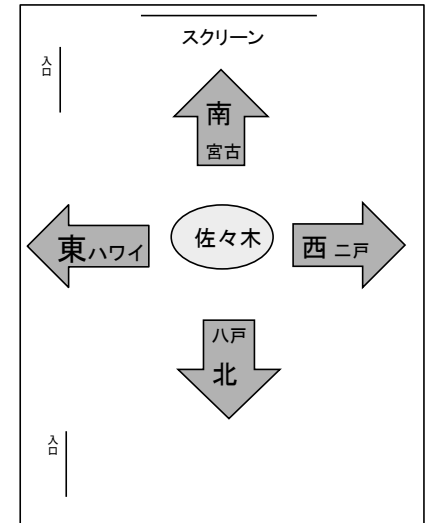
## 本日の大まかな流れ

○オープニング	10:10~10:20
○ロジック最終アウトカムの妄想	10:20~10:50
○社会教育事業の選択	10:50~11:00
○エビデンスのこじつけ	11:00~11:15
○社会教育事業概要の整理	11:15~11:40
○アウトカム・アウトプット評価検討	11:40~12:00
~昼食・休憩~	12:00~13:00
○事業計画・評価シートの作成	13:00~13:30
午前中の各検討項目をシートにまとめ、整理します	
○ポンチ絵の作成とプレゼン準備	13:30~14:30
○プレゼンと振り返り	14:30~14:55
○エンディング	

5

## ① 出身地マップ

自分の生まれた場所を、周りの参加者に聞きながら、マップをつくってみよう



6

## ① 出身地マップ

自分の生まれた場所を  
周りの参加者に聞きながら  
マップをつくってみたら

できるだけ、自分の出身地と離れた参加者と二人組をつくろう。

7

## ② Aさん・Bさん自己紹介 1

- ① 2人組でAさん・Bさんを決める
- ② Aさん自分の**名前**について30秒語る。Bさんはただ聞く
- ③ Bさん、Aさんの名前を30秒**ほめちぎる**。Aさんはただ聞く
- ④ 選手交代をし、②~③を行う

※ 「聴く」ことを訓練する修行！

8

## 相互コミュニケーション力の向上 ①

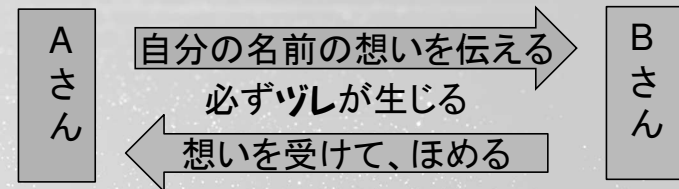
**其之壹** 伝えることと、  
伝わることは違う！

**其之貳** コミュニケーションは  
伝わる側の力量次第！

**其之参** 伝える側は伝える側に  
どう伝わるか考える！

9

## 相互コミュニケーション力の向上 ②



**其之四** ツレをお互い認め合い 合意形成  
相互の想いを共有する！

言語的コミュニケーションと非言語コミュニケーション

・レイ.L. バードウイステル

言語 35% 非言語 65%

・アルバート・メラビン

言語 7% 周辺言語（話しぶり、抑揚等）38% 顔の表情 55%

10

## ③ Aさん・Bさん自己紹介 2

- ① 2人組でAさん・Bさんを定める
- ② Aさんが自分の夢（妄想）を語る。Bさん頷きながら聞く
- ③ Bさん、Aさんの願いを受け止め共感の上、助言をする。  
Aさんは、頷きながら聞く
- ④ 選手交代をし、②～③を行う

拍手！

拍手！

11

ロジック  
最終アウトカム  
の妄想

12

# 社会教育事業を見直す視点①

・**「どうしよう？」**から **「どうしたい！」**へ

ロジック最終アウトカムの妄想

この事業を実施すれば...

こんな

とって

なんて

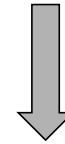
「いいことがある」「楽しいになる」  
「地域が元気になり、幸せになる」

妄想から生まれる社会教育事業

13

これまでの社教育事業は、  
事業実施から考えるのが大半!?

事業すること自体  
が目的?



例) 青少年を対象に宿泊体験事業を1泊2日で行い  
青少年に様々な体験活動をさせよう

ロジックに基づく社教育事業は、  
「最終アウトカム」達成を目的

事業後の効果・  
成果を目的

例) 希望あふれる若者中心のまち となるために、  
青少年を集め1泊2日で交流研修事業をやる

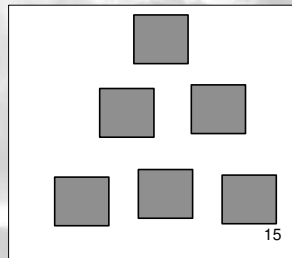
14

「社会教育事業をやったら」  
こんな良い効果があればいいなあ♪

①社会教育事業後の目指す状況(妄想)をラベル  
1枚に1つ書きましょう

※ 5・6枚程度 質より量

②書いたラベルを見て、自分の  
主観でランキングして、順位を考  
えよう

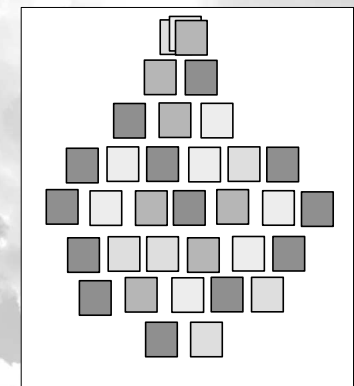


15

③グループで、演習で話し合いたい社会教育事業後の  
目指す状況(妄想) ランキングを紹介しあいま  
しょう。

④グループで、個人のラ  
ンキングを参考にして、  
グループ内の妄想ラン  
キングを話し合いましょ  
う。

合意形成



16

# ⑥グループでしぼった、妄想ランキングから、「施策」or「事業」の「最終アウトカム」案を検討します

事業を実施したら… ⇒社会的課題が解決された状況

- ・若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる
- ・郷土芸能が子どもに伝承される仕組みができる
- ・商店街に客が戻り、まちが元気になる
- ・6次産業があちこちで成功し、財政が潤う
- ・高齢者の交流が増え、孤立死0となる
- ・子どもの貧困に対する意識が高まり、様々な支援体制が生まれ、子育て環境が充実する

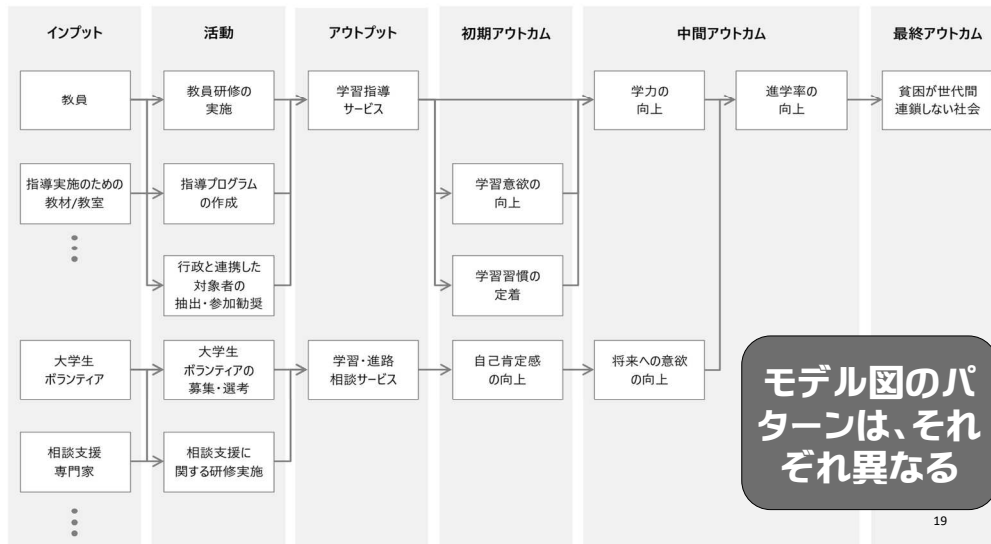
# ロジックモデルとは？

○事業や組織が最終的に目指す変化・効果に向けた道筋を体系的に図示化したもので、事業の設計図に例えられます。

※ 日本財団「ロジックモデル作成ガイド」 引用



## 1. 学習支援事業におけるロジックモデルの例



古館地区運営組織形成支援モデル事業/ロジックモデル  
【古館まちづくりの会が中心になって自由で活気にあふれ、おしゃれで夢のある古館になる】  
事業目標)みんなが自由に発言でき、互いに認めあって活躍できる環境ができていく  
(古館に住み続けたいと思える住民が増えている※H40年までに10%増)

## 古館まちづくりの会『ロジックモデル』

手段1	手段2	手段3	目標内容	事業1	実施時期	備考
01)	住民の困りごとを解決し安心して暮らせる仕組みができていく		(※H35年までにNPOが活躍する新しいネットワークがある) 困ったときの支援体制ができていく	ミニ窓口 みんなの茶の間 ガキ大将養成スクール 古館地区の防災マップづくり 行政区の見直し	H31年度 H32年度 H33年度	
	0101) 住みやすく安全に暮らせるまちになっている		子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちになっている 災害に強い地域になっている 安全なまちになっている	人財バンク事業 チョイ悪学級 5・6年生の居場所づくり こどもの料理教室		
	0102) 子育てにやさしいまちになっている		子育て世代の負担軽減 困りごとや支える側の発掘 ご近所での支え合い体制ができていく	全員アンケートの実施 班会議の推進 団体サポートセンター		
	0102) 地区や住民の困りごとを受けとめる場がある		既存団体の棚卸ができていく 連携できそうな団体のマッチング 中間支援としてのサポート体制ができていく	NPO設立、事業内容の説明会 事務局お助け隊		
02)	自由で活気がある、おしゃれで夢のあるまちになっている				H31年度 H32年度 H33年度	
	0202) 自由な発言ができるまちになっている (フィードバックがある)		020201) 地域の情報が行き交うまち 020202) 集う場がある	古館まちづくりの会の情報発信ができていく いろいろな団体等の活動が見える化される 誰にも情報が届く仕組みができていく 声を出せる場がある 参加しやすいしくみづくり		HP/ライン/ML/チラシなど選べる状態 ワークショップ/HP/ラインなど 参加しやすいしくみづくり
	0201) みんなに活躍の機会がある		020101) 一人一人の個性を活かし、活躍できる場がある 020102) 古館公民館を多目的施設として利用できる	地域の課題とニーズの把握 稼げるしくみづくり 地域の人財力が高まっている 地域のニーズに応えた社会教育の場になっている 多彩な利用ができる公民館になっている		情報収集 商品開発 起業支援 人材バンクのための調査 人材マッチング事業 ニーズの中間支援 こみまち+クラフト市 公民館の業務委託 古館わかもの会のついで クラス会等開催支援
	0203)若い人が定住したいまちになっている		020301) 若者の委員会がある 020302) 参加の仕組みをつくっている	若者向けついでい開催 若者活動支援 古館の資源の実態調査 地域資源がなりわいになっている		

## ロジックモデル（一般的な）作成の流れ

### ①最終アウトカムの検討

○事業が目指す、社会課題が改善された状態

複数の事業により課題が改善された状態「～になる」「～をめざす」という目指すべき全体社会像

### ②初期・中間アウトカムの検討

○最終アウトカムに向けた、事業の直接的評価項目

複数の事業により向上や成果が期待できる評価項目「できた」「向上した」を、初期・中間の段階的に検討する

### ③具体的な事業内容の検討

○アウトカム達成に向けた、事業内容の検討

初期・中間アウトカムで評価できる、事業内容（課題分析・目標・効果・学習プログラム・評価）を検討する

21

## 今回のロジックモデルでは

○事業実施後の、とって**良**くなったという「妄想」から考える

### まず**施策・事業**の「最終アウトカム」検討

今回の演習では**施策・事業**の「最終アウトカム」の妄想を、個人とグループで検討共有する手順で行っています

この事業を**（単年・数年）**やれば、課題が解決され**明るい未来**がみえる…といった**妄想**をしてみましょう

22

## 演習の社会教育（事業）計画内で使用する用語の整理

用語	意味	概ねの実施期間	担当組織（実施機関）
政策	自治体が目指すべきまちづくりの方向や目的を示すもの	10年以上	行政全体
施策	政策を実現するための方策	5～10年	局レベル
施策の柱	施策を実現するための手段	3～5年	局または課レベル
事業（事務事業）	施策を実現するための具体的な手立て	毎年度	課または係レベル

← 複数年で、他部局を巻き込む

← 単年度で、単一部局での事業

⇒ 政策は施策の集合体であり、施策は事業を集めたものになる。事業の積み重ねが政策へとっていく。

23

## ⑥グループでしぼった、**妄想ランキング**から、「**施策**」or「**事業**」の「最終アウトカム」案を検討します

- ・事業への興味関心を促す (キャッチ)
- ・事業実施の意識を深める (シンク)
- ・事業実施に向けて盛り上がる (ノリ)
- ・多様な考えが沢山出てくる (メタ)

シンプルで分かりやすい「最終アウトカム」(案)を検討しよう

24

# 社会教育 事業(計画) の選択

25

○グループで検討した「最終アウトカム」が  
達成される社会教育事業(計画)を選択します

【最終アウトカム】

若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる

事業の対象は、  
20~30代！

「人材育成」の視点で、参  
加した若者にイベントを企  
画・運営を任せるような  
交流研修を実施しよう

26

## 社会教育事業(計画)の内容

☆社会教育事業(計画)は、対象あるいは学習領域・内容に分けて計画される場合が多い。

### 【対象別】

青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育など

### 【学習領域・内容別】

家庭教育支援、生涯スポーツ振興、環境教育、  
人権教育、キャリア教育・職業教育、  
情報化に関する教育、高齢社会に関する教育、  
男女共同参画に関する教育、障害者の生涯学習、  
学校と地域の連携・協働の推進 など

27

## 施策(区分)の例と事業例

施策(区分)	事業例
推進体制	調査研究、体制構築、組織編制、居場所づくり等
人材育成	指導者研修、リーダー養成等
学習機会の充実	講座、学習会、交流機会等
普及啓発	交流大会、リーフレット作成等
団体支援	関係団体研修、補助事業等
その他	施設整備事業等

事業対象と学習領域・内容が決まったら、具体的に事業を進めるための「施策(区分)」を参考にし、最終アウトカムが達成できる事業の骨子を検討しよう

28

# 最終アウトカムを達成する事業を検討♪

対象別・学習領域内容別・施策の区分をよりどころとして、**事業名**(仮)と大まかな**事業概要**を検討してみよう

【最終アウトカム】

若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる

## 事業名「夢叶える!」若者フェス(仮)

- ・事業対象は青少年で、若者の活躍の場を「人材育成」の視点でやってみよう
- ・集まった若者に、フェスティバルを企画・運営させ、仲間づくりと達成感を持たせよう。SNSで情報発信することで、全国に散った若者を呼び寄せよう

29

# エビデンスのこじつけ

30

## 社会教育事業を見直す視点②

・事業をやれば、こんないいことがあるよ

エビデンス (EBPM) のこじつけ

事業実施の根拠って...

こんな

とって

なんて

「効果が出ます」「成果がもります」  
「やるべきことが明らかになります」

こじつけからの社会教育事業

31

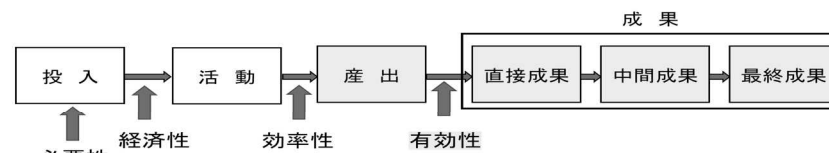
## エビデンスとは?

○客観的な**根拠**に基づく**政策立案・運営**のこと

(EBPM=【Evidence Based Policy Making】)

※「政策の基本的な枠組み」を証拠に基づいて明確にするための取組

※統計等データの整備・改善が連動するサイクル【政策課題の把握→政策効果の予測→測定→評価】による政策の改善



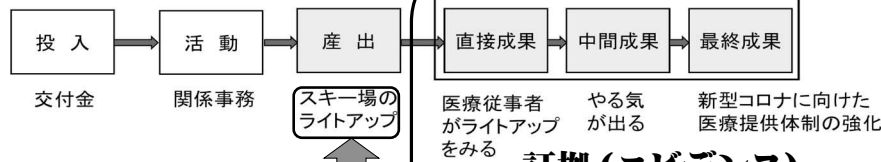
政策の実施により、期待される効果が得られるのか、実際に得られているのか

32

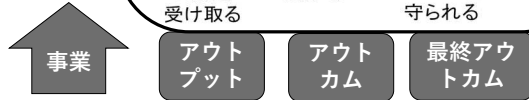
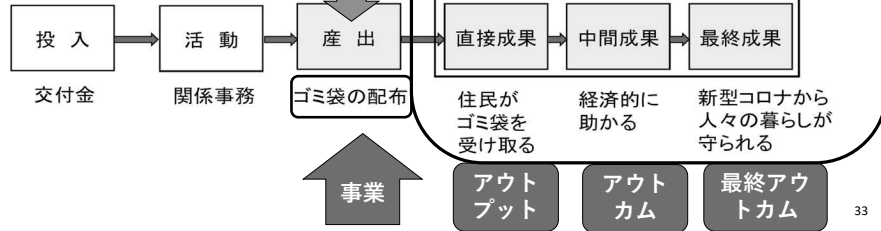


目的のため本当に効果が上がる行政手段は何か

① 医療従事者支援事業(ライトアップ)



② ゴミ袋配布事業



# ○社会教育事業(計画)を実施するための根拠(エビデンス)をこじつけます

【最終アウトカム】  
若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる

◎人材育成の視点で交流研修を実施すれば

- 【事業実施の根拠】
- 交流研修に若者が15人集まる
  - 参画意識が高まり、リーダーが生まれる
  - 若者企画のイベントに1万人の参加者
  - イベント定例化に向け、NPOを立ち上げる
  - 若者の活躍で、5年後若者が100人戻る

## なので、EBMPとは

政策立案の根拠(エビデンス)となる評価(アウトプット・アウトカム)が必要という観点

最終アウトカム(妄想)を実現するための根拠としての評価項目(アウトプット・アウトカム)を明示していくことで、事業実施のGOサイン(予算や人をつける)の満額保証を得るように検討します

根拠(エビデンス)となる、評価項目を「成果」と「効果」に分けてみましょう

# アウトカム・アウトプット 評価検討

## 社会教育事業を見直す視点③

・いいことを **効果と成果** で見直す

アウトカム評価とアウトプット評価の整理

効果と成果を分けると とって

「評価がしっかりできます」

「次のやることが見えてきます」

明確な評価がある社会教育事業

37

## 本研習でのロジックモデルとEBPMの位置づけ

評価をなんちゃってロジックに位置づけ

アウト  
プット

事業**成果**の評価：参加者数などの事業結果

アウト  
カム

事業**効果**の評価：満足度・理解度・事後の活動・行動の変容など

エビデンスは理念とし、事業根拠を考える程度

38

## 事業目標と評価項目(例)

事業例 「夢叶える!」若者フェス

【最終アウトカム】

若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる

【評価項目】

交流研修に若者が15人集まる⇒ **仲間づくり (成果)**

参画意識が高まり、リーダーが生まれる

⇒ **リーダー層の発掘・養成(効果)**

若者企画のイベントに1万人の参加者⇒ **普及啓発(成果)**

イベント定例化に向け、若者がNPOを立ち上げる

⇒ **リーダー層の発掘・養成、団体の活性化 (効果)**

若者の活躍で、5年後若者が100人戻る⇒ **地域課題の解決(効果)**

39

## 評価項目の例

- A 知識・技術の習得
- B 仲間づくり
- C 地域課題の解決
- D 学習の仕方の習得
- E 普及・啓発
- F 市民講師の発掘・養成
- G リーダー層の発掘・養成
- H ボランティアの発掘・養成
- I 団体の活性化
- J 他機関・団体との連携

40

## 評価指標の作成例

### 事業に共通する評価項目

個別評価項目	アウトプット	アウトカム
A 知識・技術の習得	・ 講座修了者数	・ 講座内容の理解度 ・ 受講者の学習の継続率
B 仲間づくり	・ 講座で知り合った人の数	・ 参加者の満足度 ・ 団体・グループへの加入率
C 地域課題の解決	・ 地域課題に気付いた人の数	・ 受講者の意識・行動の変容度 ・ 受講者の自主的な事業企画・実施度
D 学習の仕方の習得	・ 講座修了者数 ・ 学習相談件数	・ 講座内容の理解度 ・ 学習の継続率
E 普及・啓発	・ 資料の配布部数 ・ アクセス数	・ 地元紙等での報道数 ・ 住民の意識の変容度 ・ 資料の認知度
F 市民講師の発掘・養成	・ 養成講座修了者数	・ 講座等での指導回数 ・ 講師/メンクの登録人数
G リーダー層の発掘・養成	・ 講座修了者数	・ 講座等での指導・活動回数 ・ 参加者の満足度
H ボランティアの発掘・養成	・ 講座修了者数 ・ ボランティアについての情報提供数	・ ボランティアとしての活動回数 ・ ボランティアメンクの登録人数
I 団体の活性化	・ 活動参加者数	・ 活動参加の満足度
J 他機関・団体との連携	・ 連携団体数 ・ 連携者数	・ 新たに活動を開始した事業数

41

## 評価指数をつくってみよう

☆ まずは、考えられる評価指標を付箋紙に書き出してみよう

### 事業例 「夢叶える!」若者フェス(夢フェス)

・仲間づくり

・リーグ層の発掘・養成

・普及啓発

・団体育成

・地域課題解決

企画研修への参加数

夢フェス企画イベント数

夢フェスボランティアの登録数

夢フェスへの一般参加者の満足度

夢フェスへの参加者数

フェス後の若者ボランティアの参加

SNSでの情報共有数

次年度の夢フェスの若者リーダー増加

県外若者への情報提供機会の増加

県外若者の帰県した数

帰県した若者の満足度



Point

- ・ 評価指標の質より量(付箋の枚数)
- ・ 測定可能、整合性等の留意点にとらわれず自由な発想で

42

## 社会教育事業の事業評価と方法

**評価指標** 評価項目の内容を測定する時に用いる指標

<評価指標作成の視点>

**有効性** … どのような、どの程度の効果があったか

**効率性** … 事業の効果に対してどれだけの費用、人、時間等を費やしたか

定量的な指標

可能な限り計測できるものだとEBPMにもつながる…

定性的な指標

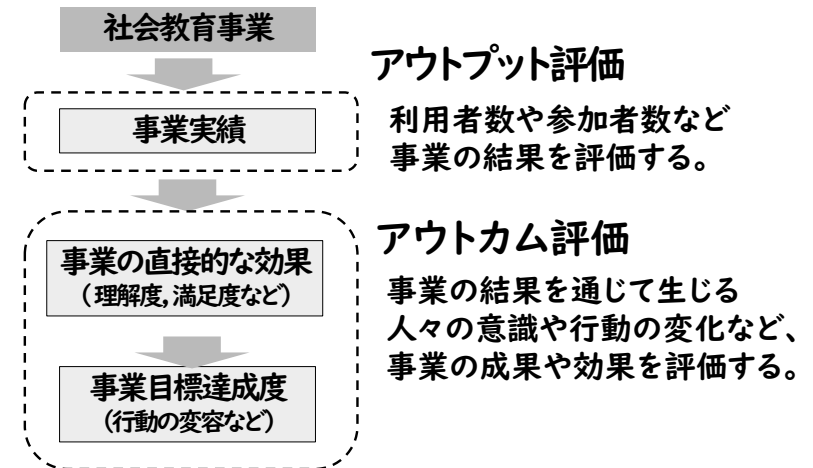
社会教育事業の評価項目は定量的に把握できるものだけではない  
できる限り客観的に見える指標

(例) 体験活動に関する知識や技術の習得度  
→ 日誌の記述で知識・技術を活用した場面を記載した回数(あるいは人数)

43

## 評価指標の整理

事業のアウトプットとアウトカムの捉え方

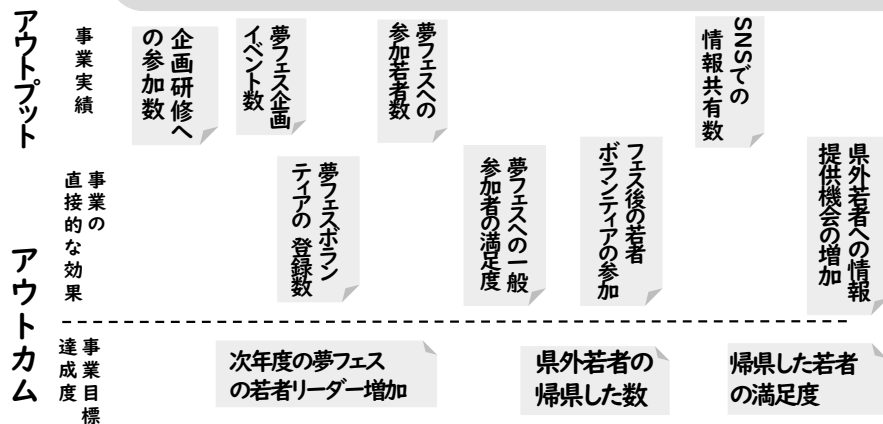


44

## 評価指数の整理

☆ 付箋紙を、評価項目ごとに、アウトプットとアウトカムに分けて整理する。

### 事業例 「夢叶える!」若者フェス(夢フェス)



45

## ランチタイム

12:00~13:00

46

ロジック  
& EBPM  
& アウトプット  
& アウトカム  
って何で必要!?

47

## 第4期教育振興基本計画 令和5年6月策定

Ⅲ. 今後の教育政策の遂行に当たっての評価・投資等の在り方

(1) 教育政策の持続的改善のための評価・指標の在り方

### ○ 教育政策のPDCAサイクルの推進

目標の達成状況を客観的に点検し、その結果を対外的にも明らかにするとともに、その後の施策へ反映していくことで実効性のある **PDCA サイクルを確立**し、十分に機能させる必要がある。

48

## ○ 教育政策の企画・立案段階

教育政策の企画・立案段階においては、政策の目標と具体的な施策を総合的かつ体系的に示すことが重要である。このためには、いわゆる**ロジックモデルの活用も有効**である。（中略） 企画・立案段階から、目標の達成状況に関する**指標設定**等を通じ、**客観的な根拠**を把握し生かす仕組みを組み込んでおくことが重要である。

49

## ○ 教育政策の実施段階

- 1 必要な**改善を図りつつ**、総合的・体系的な観点から**着実に実施**する。
- 2 数値化できるデータ・調査結果のみならず、**数値化が難しい側面**も含め、現場感覚を持って**的確に状況を把握**する（中略）行政職員を育成する。

50

## ○ 教育政策の評価・改善段階

- 1 **政策評価との整合性**を持って実施する。
- 2 **目標横断的**な視点からの分析にも留意
- 3 **政策運用の改善や政策手段の入替え**を行う
- 4 見直しを含め、**適切なデータ収集**に努めることが必要

51

## ○客観的な根拠を重視した政策推進の基盤形成

あるべき教育政策を総合的・多角的に判断して、**客観的な根拠に基づく政策ビジョン**を形成する等、教育政策に関する **EBPMを推進**するための環境整備を進める

52

## 第1部 我が国における今後の教育政策の方向性

### (2) 教育投資の在り方

#### ○ 未来への投資 としての教育投資の意義

- ・教育投資は個人及び社会の発展の礎となる未来への投資
- ・新たな価値の創造や未来への志向性、共生社会の実現、地域コミュニティの形成といった社会の持続・発展に不可欠でありつつも**必ずしも数値化できない重要な効果もあること**

#### ○ 第3期計画までの教育投資の状況

53

### これは何の二つちゃといえ

#### ・教育政策を進めるにはPDCAサイクルで行きなさい

- ①「Plan」では、ロジックモデルを使うといい
  - ※ 目標の達成状況や根拠(EBPM)を明確化
- ②「Do」では、計画に基づき、ちゃんとやりましょう
- ③「Check」では、やったら評価をしっかりとしましょう
  - ※ 評価指数(成果・効果)を明らかにしよう
- ④「Action」では、次のビジョンをもちましょう
  - ※ 根拠(EBPM)を念頭におけばいいですよ

#### ・未来への教育投資は、数値化できないものもある

54

## 事業計画・評価シートの作成

### 事業計画・評価シート

最終アウトカム	若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる					
事業名	「夢叶える！」若者フェス（夢フェス）					
事業の概要 (対象・領域内容・施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業対象は青少年で、若者の活躍の場を「人材育成」の視点で実践する</li> <li>・集まった若者に、フェスティバルを企画・運営させ、仲間づくりと達成感を持たせる。SNSで情報発信することで、全国に散った若者を呼び寄せる。</li> </ul>					
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくり・リーダー層の発掘養成・普及啓発</li> <li>・団体育成・地域課題の解決</li> </ul>					
評価指数	○アウトカム	夢フェス参加者の登録数	夢フェスへの一般参加者の満足度	フェス後の若者ボランティアの参加	県外若者への情報提供機会の増加	次年度の夢フェスの若者リーダー増加 県外若者の帰県した数 帰県した若者の満足度
	○アウトプット	企画研修への参加数	夢フェス企画イベント数	夢フェスへの参加若者数	SNS上の情報共有数	

55

56

整理しながら、再検討してみよう

午前中の資料を写しても、魅力的にリニューアルしてもOK

事業計画・評価シート

最終アウトカム	若者の活躍する場が生まれ、若者が戻ってくる			
事業名	「夢叶える！」若者フェス（夢フェス）			
事業の概要 (対象・領域内容・施策)	・事業対象は青少年で、若者の活躍の場を「人材育成」の視点で実践する ・集まった若者に、フェスティバルを企画・運営させ、仲間づくりと達成感を持たせる。SNSで情報発信することで、全国に散った若者を呼び寄せる。			
評価項目	・仲間づくり・リーダー層の発掘養成・普及啓発 ・団体育成・地域課題の解決			
評価指標	○アウトカム	夢フェスの登録数	夢フェスの満足度	夢フェスの一般参加者数
	○アウトプット	企画研修への参加数	イベント数	夢フェスの参加者数

アウトカムかアウトプットか迷ったら、皆で相談して適当に振り分けよう

午前中の資料に加えたり削ったりしてもOK

チーム全員で行ってもいいし、担当を決めて原案を作成して、もんでみてOK

用紙に整理しながら、電子媒体にまとめてみよう。(分担もOK)

# ポンチ絵の作成とプレゼン準備

## ポンチ絵の作成について

### 【ポンチ絵】とは

概要を端的に示した説明資料  
(構想図・概要図・概略図)

### 作成の視点

○「**地域の実態(課題)**」「**地域課題を解決するための具体的な取組**」が見通せるような構成を意識して作成する。



### 留意点

- パワーポイント1枚にまとめる。(参考資料を参照)
- 字数をできるだけ少なくし、キーワードで印象づける。
- 見やすいレイアウトを工夫する。

### 滝沢市

[事業] たきざわ丸ごと！  
チャング★チャレンジ

[成果] ☆若者の地域の伝統芸能への興味関心が高まる  
☆地域の活性化



[施策] 学びにより充実した人生をおくることができるまち

[事業] SuiCafé  
～飲むの!飲まないの!～

[成果] ☆若者の地域づくりへの参画意識の向上

# 陸前高田！若者が希望を持てるまち!!

## 施策 青少年の生涯学習の推進 ～青少年の交流と地域参画の推進～

【課題1】  
青少年の地域への愛着が少ない

【課題2】  
青少年の社会参画機会が少ない



## 【施策】生涯学習・社会教育の強みを生かした学習機会の提供

課題① 共に支えあい、いきいきと暮らす場が少ない。  
課題② 福祉に関わる人材が不足している。  
課題③ 生涯学習・社会教育が主体となる事業が少ない。

### 柱1 社会参加の推進 障がいのある有無に関係なく、多様な学習場面に参加できる街 一関

事業1：指導者育成事業  
～いちのせきインクルーシブリーダープロジェクト～  
事業2：する・みる・ささえる事業  
～まんずポッチャやってみんべじゃ～



## グループ4 モデル自治体「岩手県久慈市」 テーマ「青少年教育」

- 課題
- 1 青少年の生涯学習活動についての参画意識の低さ
  - 2 青少年を対象とした参画型の体験活動機会の不足
  - 3 青少年の地域との関係の希薄化

戦略的目標  
多様化する市民ニーズを的確に捉え、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことのできる学習機会の提供、地域人材の豊かな知識や経験が活用される環境整備、持続可能な地域づくりの視点で学びを通じた人づくり、つながりづくりを目指します。

## 施策 総合力豊かな人材を育てるまちづくり

- 【柱1】地域人材の育成と活躍の機会の提供  
【柱2】青少年の団体・活動支援  
【柱3】他機関・団体との連携

●KYCC久慈ヤングコミュニティコーディネーター育成・認定事業【新規】  
地域の活性化に取り組む青少年をKYCCとして認定し、将来的な人材を育成する。  
・広報(紙、ネット媒体)  
・KYCCセミナー(養成)  
・KYCCワークショップ

●KYCC久慈ヤングコミュニティコーディネータープロジェクト事業【新規】  
各市民センターが中心となり、KYCCが地域で学びの成果を活かす場の設定や活動に対する相談・助言などの支援を行う。  
・KYCC～地域de交流編～  
・KYCC～連携編～  
・KYCC～挑戦～  
・KYCC～未来へ～

各市民センターに配置されるKYCCの数  
青少年の地域づくりへの参画意識調査  
地域に住んでいる人やコミュニティに魅力を感じている人の割合

## ポンチ絵作成 虎の巻 1

今回最低限配置すべき項目

施策・事業の最終アウトカム

事業名

アウトカム・アウトプット

事業概要

必要に応じて加える項目例

現状・課題

事業目標

事業内容

予算

年次計画

連携先

イラスト

写真



## ポンチ絵作成 虎の巻 2

配列は【Z】を意識しよう

最終アウトカム

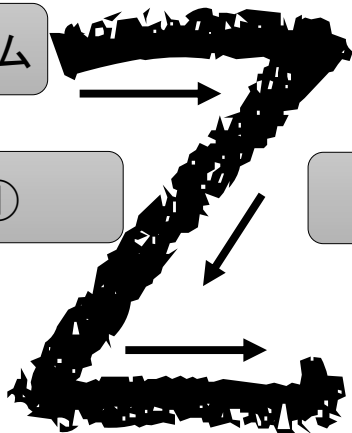
事業名

事業概要①

事業概要②

アウトカム

アウトプット



65

## ポンチ絵作成 虎の巻 3

【文字】

- ・文字の**大きさ**に気を配る、**書体**を使い分ける（基本MSゴシック）
- ・文字の色は基本**黒**、テーマ毎に色分けも可

【背景】

- ・印刷や印刷物の配布を考え、基本**白**が望ましい

【配列の工夫】

- ・【Z】の流れで関係性がスムーズに見てわかるように
- ・囲みや矢印、吹き出しを活用しよう（囲みの中の文字は反対色を意識）

【写真やイラスト】

- ・イメージにつながる写真やイラストを選択し、効果的に配置しよう
- ・著作権・著作隣接権・肖像権・プライバシーを損ねそうなものは要注意

66

## ポンチ絵・プレゼン 裏技

【お勧めイラストサイト】

○ イラストや

<https://www.irasutova.com/>

○ illustAC

<https://www.ac-illust.com/>



登録不要・そろそろ飽和状態

登録必要、CM付  
検索・ダウンロード数制限あり  
様々なイラスト豊富

67

# プレゼン テーション の作成

68

## 社会教育事業提案に向けた想定場面

モデル自治体の  
予算ヒアリングの  
席で…

今後の社会を展望すると、〇〇教育  
事業をより充実させる必要がある。

ロジックに基づいた、  
新たな事業を提案します



新たな社会教育事業の立案

自治体 財政担当職員にプレゼンテーション

69

## プレゼンテーション時の留意点

### ○目的・対象

財政担当職員に向けて、立案した施策or事業について説明し、予算を勝ち取る

### ○持ち時間

5～7分程度

### ○発表方法

役割分担し全員で魅力的に説明する



70

## プレゼン作成 虎の巻 1

これまでの「分析・計画シート」を中心に作成

- シートをそのまま貼り付けてもOK
- シートを分割して大きくしてもOK
- シートの特徴的な所をクローズアップもあり
- 図・イラスト・写真を効果的に配置しよう

「ポンチ絵」を配置してみよう

- ポンチ絵をそのまま貼り付けてOK

71

## プレゼン作成 虎の巻 2

### 【文字】

- ・文字の大きさ(40P以上)に気を配る、**書体**を使い分ける  
(基本MSゴシック)
- ・文字の色は基本黒、テーマ毎に色分けもOK

### 【背景】

- ・印刷や印刷物の配布を考え基本白が望ましいが、真っ暗な会場でプレゼンするときは、黒目の画面に白系の文字も私はよく使います。

72

## プレゼン作成 虎の巻 3

### 【配列の工夫】

・イメージにつながる写真やイラストを選択し、効果的に配置しよう

### 【アニメーション】

・効果的なアニメーションで、文字や図を動かそう(やりすぎ注意) 私はフェード派

### 【画面の切り替え】

・効果的な画面の切り替えをしよう(やりすぎ注意)

73

## プレゼン作成 分担

個別に分担して作成し、あわせよう(例)

オープニング担当

事業計画・評価  
シート担当

パンチ絵担当

エンディング担当

74

## 評価の観点

### 最終アウトカム

○最終アウトカムが達成された状況が魅力的かつ現実的で、社会教育事業を進めるのに的確か

### 事業ネーミング・事業概要

○事業ネーミングが魅力的で、財政担当の心をゆさぶるか  
○事業概要が最終アウトカム達成するために、適切であるか

### 評価体系

○各評価指標を達成することで、最終アウトカムが達成できるという道筋(ロジック)が見えるか  
○事業概要と評価の整合性がとれているか

### プレゼンテーション

○企画・立案のポイントが伝わるプレゼンだったか

75

プレゼン  
テーション  
&  
ふりかえり

76

## グループ発表タイム

### 【この時間の目的】

これまでとは異なる事業づくりを通して

- 自分の中で感じた変化や新たな気づき、勤務先等に戻られてから取り組んでみたいことなどについて意見交流を行いましょう

77

## ふりかえり

### 【この時間の目的】

これまでとは異なる事業づくりを通して

- 自分の中で感じた変化や新たな気づき、勤務先等に戻られてから取り組んでみたいことなどについて意見交流を行いましょう

78

R5 社会教育主事講習B岩手会場  
社会教育演習「**事業計画立案の実際**」  
を、ギョッと詰めた

令和6年度  
人・つながり・地域づくり  
関係職員等研修講座  
(久慈会場)

## ～ロジックモデルで見直そう 来年度の事業～

お疲れさま  
でした

岩手県生涯学習振興協会  
事務局長 佐々木 勉

79